

公明 こまえ

NEW KOMEITO
公明党

新春号

2013年 vol. 10

発行 狛江市議会公明党 TEL.03-3430-1161

KOMEI KOMAE PRESS

<http://www.komae-komei.com/>

平成25年の幕開け、 あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、日頃から公明党に対し真心からのご支援を賜り、誠にありがとうございます。

去年は多くの市民の皆様のご支援を賜り、高橋くにひこ市長が誕生し、新しい狛江市政への一歩が踏み出されました。高橋くにひこ市長は、市長就任から精力的に東京都や近隣自治体との信頼関係構築に行動されています。そしてこれまでの東京都職員としての行政キャリアを活かして、狛江市の財政運営のあり方や前

市政の狛江市基本計画の見直し作業に入り、また、狛江市公共施設再編方針の計画を抜本的に見直し、狛江市公共施設整備計画を新たにに取りまとめました。

狛江市議会公明党は、高橋くにひこ市長を支え、これからの新しい狛江市政を作り上げてまいります。今後とも皆様の温かなご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



前矢野市政の最終年度の決算が不認定!

平成23年度一般会計決算が不認定に!(前市長の市政において4年連続)

平成23年度狛江市一般会計決算が、11月27日の市議会第4回定例会本会議における採決で「認定」少数の結果、「不認定」とされました。「認定」としたのは「日本共産党狛江市議団」のみでした。

矢野前市長の市政最終年度とも言える平成23年度も一般会計決算が不認定となり、これで、4年連続で「不認定」という結果になりました。

財務省から財務内容のヒアリングを受け、留意すべき点等の指摘を受けていたにも関わらず、「事務的な業務との認識」から、議会には一切報告がなされない等、厳しい財政運営を強いられている自治体として、あまりに

危機意識が欠如していたのが、前市政です。このような意識の下、取組まれている行財政改革推進計画は、その着手率すら把握されていないなど、昨年度決算時にも厳しく指摘したにもかかわらず、進捗管理がなされていない、おろそかにされたままの状態でありました。

その他、「経常収支比率」の悪化、福祉障がい者施策・道路施策・子育て施策・教育施策においても、成果・結果を残すに至らず、また、予定していた取組み等も実施できていないという状況でした。

平成23年度の大規模案件でもある元和泉テニスコートの用地取得約4億9千万円に

おいては、一部財務省の土地が含まれていた事、財務省から過去10年に遡って土地使用料を請求されていた事、狛江市としては支払う筋のものではないとの見解から、財務省との土地売買契約が難航し、正式契約が半年間も遅れていた事、これらの事が一切、議会には報告されずじまいであり、しかも、テニスコートを運営・管理する部の長にすら何も報告されていなかったという実態が明らかになりました。

「適切に情報を開示し、自立・規律ある行財政の運営」を強く求め、狛江市議会公明党は平成23年度狛江市一般会計決算を「不認定」としました。

